１．貧血の治療で誤っている組み合わせはどれか？

　１）悪性貧血−−−−−——————ビタミンKの投与

　２）再生不良性貧血—————骨髄移植

　３）透析中の腎性貧血———エリスロポエチン

　４）溶血性貧血—————————脾臓摘出

２．貧血について誤っているものはどれか？

　１）妊娠時には貧血になることがある。

　２）急性出血後には骨髄の赤芽球が増加する。

　３）再生不良性貧血では白血球、血小板も減少することが多い。

　４）すべての溶血性貧血では摘脾が治療の第１選択である。

３．貧血の治療で誤っている組み合わせはどれか？

　１）悪性貧血−−−−−——————ビタミンKの投与

　２）再生不良性貧血—————骨髄移植

　３）透析中の腎性貧血———エリスロポエチン

　４）溶血性貧血—————————脾臓摘出

４．骨髄について誤っているものはどれか？

　１）正常骨髄中には造血細胞の幼弱型が存在し、血球を産生している。

　２）血小板の母細胞は巨核球である。

　３）骨髄腔は長幹骨に存在するが、扁平骨には存在しない。

　４）新生児の骨髄中には脂肪細胞が少ないが、老化に伴って増加する。

５．急性骨髄性白血病の患者が強力な化学療法を受け，脱毛と発熱があり，汎血球減少状

　　態にある。 　正しいのはどれか。

　1）脱毛は不可逆的である。

　2）発熱は腫瘍熱が考えられる。

　3）輸血は放射線照射処理をした血液が勧められる。

　4）ラミナフロー(平行気流)装置の風上から患者に近付く。

６．２０歳の女性。眼球結膜に貧血を認め、スプーン状爪を認めた。誤っているものはどれか？

　１）鉄の欠乏による貧血が考えられる。

　２）酸素供給不足のために脈拍数は多い。

　３）脾腫を認める。

　４）血液検査では低色素性貧血が考えられる。

７．急性白血病について誤っているものはどれか？

　１）小児ではリンパ性白血病が骨髄性白血病より多い。

　２）成人では骨髄性白血病の方がリンパ性白血病より多い。

　３）M３では播種性血管内凝固症候群が多く認められる。

　４）急性白血病の診断は末梢血検査で十分である。

８．大球性貧血を呈する疾患はどれか？

　１）鉄欠乏性貧血

　２）溶血性貧血

　３）悪性貧血

　４）再生不良性貧血

９．輸血の合併症でないのはどれか。

　1）移植片対宿主病(GVHD)

　2）高カルシウム血症

　3）じんま疹

　4）肝炎

１０．DICについて誤っているものはどれか？

　１）全身の血管に血栓ができている。

　２）血小板は増加する。

　３）凝固因子は低下する。

　４）FDPが増加する。